

福井県造園協会より、毎年数名、都市緑化研究会の文科会（コミュニケーション・技術分科会）に参加しています。これは、造園業者、コンサルタント、各土木事務所の担当者からなる勉強会で、幅広い視野から都市の緑化のあり方を研究し、福井県の街路樹をより良いものとしていこうとするものである。

28年度の動きを紹介します。

課題として、現状の街路樹は、相当年数が経っていて倒木の恐れのある路線、狭い歩道に植えられた路線や、また根上りで問題化している路線等、様々な課題を抱えている路線が多い。

また、街路樹の維持管理にかけられる予算は、今後より縮小されることが予測され、これから状況は更に悪化することが懸念されている。

対応として、街路樹の維持管理の効率化によるコスト縮減策や、中心地と郊外とのメリハリを持たせた街路樹計画を検討する。

具体的には、名古屋市の「街路樹再生指針」を参考に、「福井県街路樹再生指針(案)」を作成し、今後の街路樹再生の手引きとしたい。

実務としては名古屋市が昨年策定した「街路樹再生指針」の福井県版を作成していく。

- ・1年では時間的にかなり困難なため、来年との2ヶ年で作成していく。
- ・案を作成した後、谷口主任を通じて道路建設課から県の指針として正式に策定してもらう。
- ・冊子を作るだけのものにならないように、作った成果が実際に現場まで浸透し、実際に県内の街路樹が将来的に良くなり、かつ維持管理が効率的かつコスト縮減にも寄与できるようなものを目指す。
- ・各土木の担当者にも積極的に参加してもらい、実務レベルでの問題点やこうしたいといった思いを踏まえて作成して行く。

以上の流れでスタートし、3月の最終回では、道路建設課の谷口主任より、「街路樹再生指針」（福井県版）の作成にあたっての、たたき台となるような考え方ならびに県内全体での維持管理のメリハリを付けたり、更新・撤去を行ったりする際に目安とするための、「評価シート（案）」についての説明を行ってもらい、福井県版指針の基本的な考え方について議論を行った。

以下、資料として『街路樹再生指針たたき台』、『街路樹評価シート（案）評価事例』を付ける。

街路樹整備の目指す方向（街路樹再生指針：たたき台）

（1）選択と集中による街路樹の整備と適正な維持管理

①福井を代表する魅力ある並木道の形成



フェニックス通りのケヤキ



さくら通りのソメイヨシノ



中央大通りのクスノキ・ユリノキ

- ・植樹ます内の除草や清掃など、日常のきめ細かな管理
- ・軽剪定などによる美しい樹形の確保と緑陰の提供

→ 並木の美しさがまちの魅力につながるような質の高い維持管理に努める

②計画的な更新・撤去による街路樹再生



老朽化による倒木の事前撤去



歩道が狭い箇所の街路樹の撤去・植替え

→ 問題のある街路樹の更新、危険回避のための除伐により計画的な更新・撤去を進める

（2）県民の街路樹に対する意識の醸成と住民参加による街路樹の維持管理の推進

①街路樹に対する関心を喚起

（街路樹パンフレットの作成・配布、出前講座、ホームページによる広報 など）

③県民が積極的に維持管理に関与できる「道守活動」を推進



街路樹の更新・撤去の考え方

(1) 更新・撤去の対象【道路緑化技術基準より】

- ①道路利用者等の安全確保を考慮して、落枝、病虫害・空洞等の活力低下が確認され、倒伏等につながるおそれがある場合
- ②大径木化による道路交通や他の構造物への影響等が確認あるいは想定される場合
- ③大径木化、高木化等により道路の区域内で健全な樹形や良好な景観が維持できなくなると予想される場合

(2) 更新・撤去の検討

検討にあたっては、街路樹評価シート（案）により道路利用状況、沿道状況等を総合的に検討し、適切な方法（更新、撤去等）を見定める。

(3) 更新・撤去の実施

更新・撤去の実施の際には、その地域で道路を利用している住民等との合意形成を図る必要がある。特に、植栽後の経過年数が長い期間となっている街路樹については、周辺住民が愛着を持っていることが多いため、地域住民等との合意形成に配慮する必要がある。

以下の方法等により、住民等との合意形成を図る。

- ① 街路樹管理等の検討会や委員会への住民代表者の参加
- ② アンケート等の実施による意見収集
- ③ 現地開催を含めた住民説明会の実施
- ④ 説明資料の配布、看板設置等による情報提供

街路樹評価シート(案)

年月日: _____

担当者名: _____

番 号			
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市 順化1丁目~大手3丁目
都市計画道路名	3. 4. 1 福井縦貫線	路線名	主要地方道 福井丸岡線
延 長	500 m	本 数	45 本
樹種名	ケヤキ	高木/中低木	高木
常緑/落葉	落葉	在来種/外来種	在来種
概算管理費用	例年剪定等作業を実施していない 千円/年	植樹スペース	植樹樹
	#VALUE! (千円/m/年)	剪定回数	0 回/年

評 価 項 目	はい	いいえ	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である	○		
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である	○		
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である	○		
<小 計>	3	0	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	植樹樹幅 90cm
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている	○		
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある	○		
毛虫、害虫等の発生が少ない	○		
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない		○	街灯
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)	○		
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない	○		
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	コケが生えていたり、枯れ枝が目立つものもある。
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	6	3	

「良い」評価項目数 → 9 / 12項目

○その他特記事項

当該路線は県庁の近くであり、フェニックス祭りの会場にもなる等ランドマーク的な路線であると言える。しかし、ケヤキの現状をよく確認すると、コケが生え樹皮の更新が進んでいない木や枯れ枝が目立つ木もある。撤去という手段も一つあるが、現段階まで成長した状態では、撤去する方法自体が困難と思われ、樹種を更新したとしても景観が揃わなくなるので、今の状態で保全していくにはどのようにすれば良いか一度生育状態を調査し保全方法を検討した方が良いと思われる。

◎ 総合評価

<今後の方針>

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 積極的に保全・育成 | <input type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持 |
| <input type="checkbox"/> 管理レベルの見直し | <input type="checkbox"/> 撤去を検討 |

<理 由>

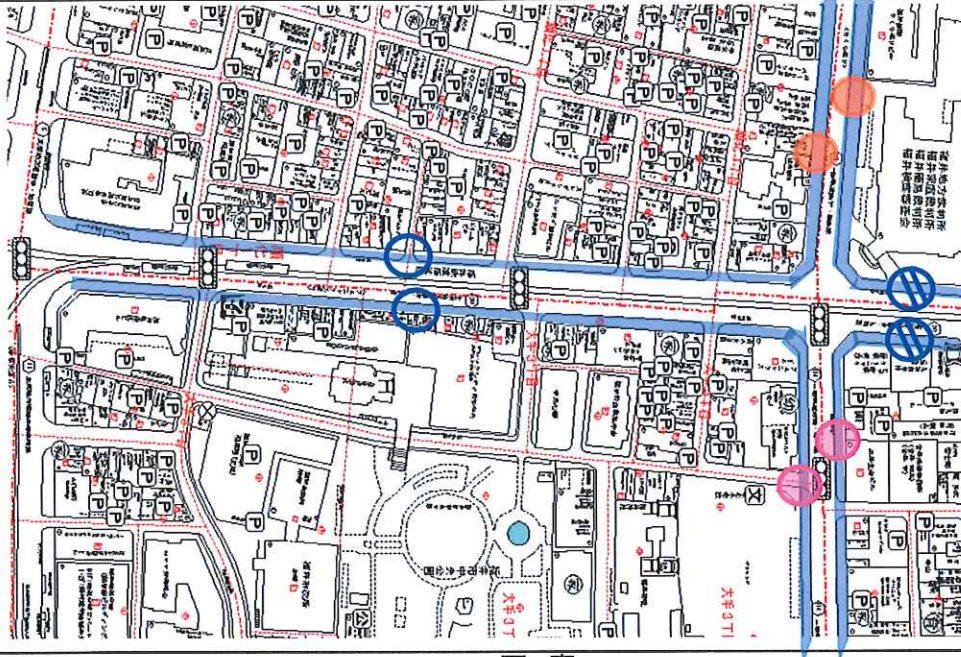
枯れ枝やコケが目立つ樹種があるので剪定の回数や時期、土壌状態を一度調査し検討した方が良いと思われるため。

街路樹評価シート(案)

年月日

担当者名

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成 □従来の管理レベルを維持 □管理レベルの見直し □撤去を検討
(管理レベルの見直し：枯れ枝の剪定の計上、樹種保全の検討・調査)

◎対応に要する費用

枯れ枝剪定：

街路樹調査・検討：

街路樹評価シート(案)

年月日: _____

担当者名: _____

番 号	5		
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	吉田郡永平寺町松岡春日
都市計画道路名	松岡菅谷線	路線名	一般国道 416号
延 長	400 m	本 数	50 本
樹種名	アキニレ	高木/中低木	高木
常緑/落葉	落葉	在来種/外来種	外来種
概算管理費用	千円/年	植樹スペース	植樹柵
	0 (千円/m/年)	剪定回数	0~1 回/年

評 価 項 目	はい	いいえ	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である	○		永平寺町役場(本所)前
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である		○	
<小 計>	1	2	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている		○	
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	
毛虫、害虫等の発生が少ない		○	
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない	○		
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)		○	
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない	○		
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	3	6	

「良い」評価項目数 → 4 / 12項目

○その他特記事項

- ・この樹種は、枝が垂れ歩行者に支障をおきている(業者聞き取り)。
- ・当該区間は年間を通して害虫及び、落葉があるため、沿道住民から樹種変更の要望が多い(業者聞き取り)。

◎ 総合評価

<今後の方針>

<input type="checkbox"/> 積極的に保全・育成	<input type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持
<input checked="" type="checkbox"/> 管理レベルの見直し	<input type="checkbox"/> 撤去を検討

<理 由>

- ・全体を通して枝が垂れ、樹形が悪いため、樹種を更新した方が良いと思われる。
- ・樹種の特徴から歩行者の安全を守るため・住民への配慮のため剪定回数を増す必要がある。

街路樹評価シート(案)

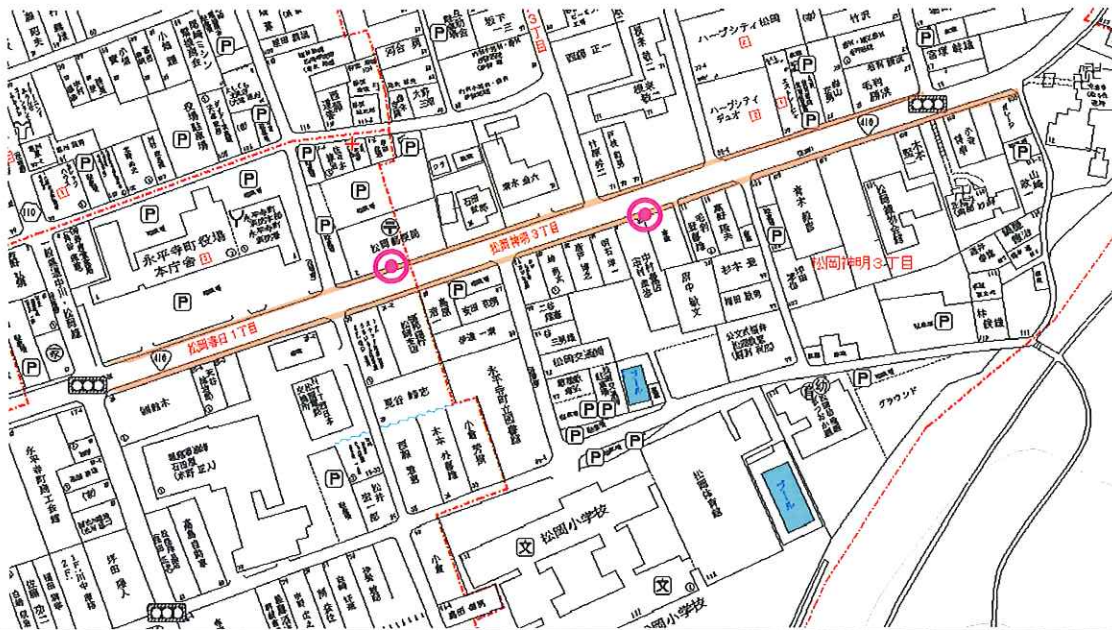
年月日

明治33年1月0日

担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

積極的に保全・育成 従来の管理レベルを維持
(既存の樹種全体の樹形が悪いため新たな樹種に更新)

■管理レベルの見直し

撤去を検討

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日: _____

担当者名: _____

番 号			
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市大手3丁目
都市計画道路名	福井駅前線	路線名	(一)御本丸大手町線
延 長	100 m	本 数	25 本
樹種名	ユリノキ	高木／中低木	高木
常緑／落葉	落葉	在来種／外来種	外来種
概算管理費用	千円／年	植樹スペース	植樹柵
	(千円／m／年)	剪定回数	1 回／年

評 価 項 目	は い	い い え	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である	○		
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である	○		
<小 計>	2	1	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている	○		
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある	○		
毛虫、害虫等の発生が少ない	○		
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない	○		
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)	○		
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない	○		
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)	○		
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	8	1	

「良い」評価項目数 → 10 / 12項目

○その他特記事項
 ユリノキを寝ぐらにしている鳥のフンや鳴き声の苦情が7月頃から出るので鳥の対策を将来的に検討した方が良いと思われる。

◎ 総合評価

<今後の方針>

<input type="checkbox"/> 積極的に保全・育成	<input checked="" type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持
<input type="checkbox"/> 管理レベルの見直し	<input type="checkbox"/> 撤去を検討

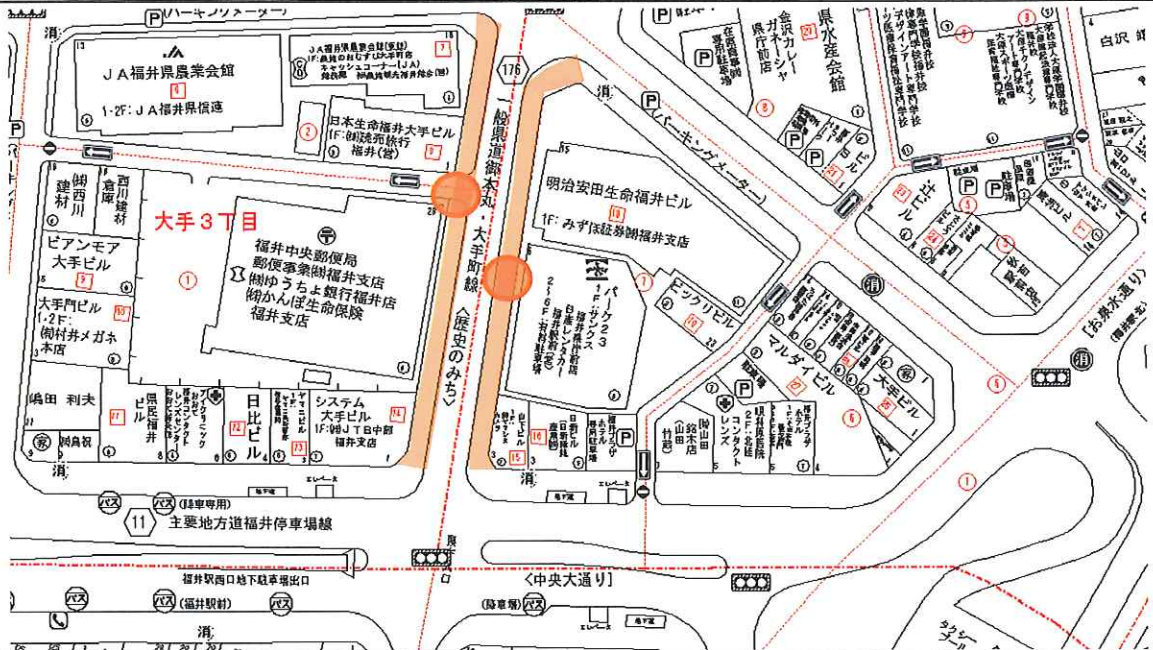
<理 由>
 鳥関係の苦情以外には何も苦情の情報無く、樹形も高さ等が統一しているため。県庁のすぐ近くということもあり、シンボリックな役割も果たしていると思われるため、積極的に保全した方が良いと思われる。

街路樹評価シート(案)

年月日 明治33年1月0日

担当者名 0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成
 従来の管理レベルを維持
 管理レベルの見直し
 撤去を検討

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日: _____

担当者名: _____

番 号	7		
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市稲多新町～栄町
都市計画道路名	福井縦貫線	路線名	福井丸岡線
延 長	1000 m	本 数	70本
樹種名	ナンキンハゼ	高木／中低木	高木
常緑／落葉	落葉	在来種／外来種	在来種
概算管理費用	千円／年	植樹スペース	植樹樹
	(千円／m／年)	剪定回数	1 回／年

評 価 項 目	はい	いいえ	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である		○	
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である	○		
<小 計>	1	2	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている		○	
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	
毛虫、害虫等の発生が少ない		○	
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない		○	
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)		○	
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない		○	
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	1	8	

「良い」評価項目数 → 2 / 12項目

○その他特記事項

電線による生育空間の制限により樹形が全体的に悪くなっている。また、高齢化により植樹スペースに合わなくなっており根上りも見受けられる。

◎ 総合評価

<今後の方針>

- | | |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 積極的に保全・育成 | <input type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持 |
| <input type="checkbox"/> 管理レベルの見直し | <input checked="" type="checkbox"/> 撤去を検討 |

<理 由>

樹木(ナンキンハゼ)の高齢化により植樹スペースに合わなくなっており落ち葉、また根上り被害が起きている。また、上記に述べたとおり、全体的に樹形が悪くなっているため撤去した方が良いと思われる。

街路樹評価シート(案)

年月日

明治33年1月0日

担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成 従来の管理レベルを維持 管理レベルの見直し 撤去を検討
(撤去を検討： 樹木の高齢化による空間スペースの無理、根上り被害)

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日: _____
担当者名: _____

番 号	4	土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市御幸～西方
都市計画道路名	福井東郷線	路線名	淵上志比口線		
延 長	2200 m	本 数	253 本		
樹種名	アメリカフウ	高木／中低木	高木		
常緑／落葉	落葉	在来種／外来種	外来種		
概算管理費用	千円／年	植樹スペース	植樹柵		
	(千円／m／年)	剪定回数	1 回／年		

評 価 項 目	は い	い い え	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である		○	
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である	○		
<小 計>	1	2	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている		○	
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	
毛虫、害虫等の発生が少ない		○	
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない		○	
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)		○	
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない		○	
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	空洞が見られる樹木がある
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	1	8	

「良い」評価項目数 → 2 / 12項目

○その他特記事項

歩道の幅が1.5m前後で樹木も幹周が60cm以上のものばかりで歩道を歩いていると軽く圧迫感が感じられます。
信号付交差点にある樹木(四つ角)が死角となり急に曲がって横断歩道を渡ろうとする自転車などに気付かない危険性があります。
また高齢樹の為、根上がりでアスファルトや縁石を押し上げている箇所が複数箇所見受けられます。

◎ 総合評価

<今後の方針>

- | | |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 積極的に保全・育成 | <input type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持 |
| <input type="checkbox"/> 管理レベルの見直し | <input checked="" type="checkbox"/> 撤去を検討 |

<理 由>

御幸～西方区間において樹形が悪く、空洞のある箇所もあるので更新した方が良いと思われる。
歩道の幅員は今ある樹木を全て撤去する形をとらないと改善が難しい(車道も狭いため)路線だと思えます。
根上り対策(植樹柵の拡大等)をしていけば、風情のある街路樹を保てると思えます。

街路樹評価シート(案)

年月日

明治33年1月0日

担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成 従来の管理レベルを維持 管理レベルの見直し 撤去を検討

既存の街路樹を撤去し歩道幅員を確保する。

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日: _____

担当者名: _____

番 号	6		
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市志比口2丁目
都市計画道路名	松岡菅谷線	路線名	福井停車場米松線
延 長	400 m	本 数	60 本
樹種名	イチヨウ	高木／中低木	高木
常緑／落葉	落葉	在来種／外来種	外来種
概算管理費用	千円／年	植樹スペース	植樹樹
	(千円／m／年)	剪定回数	0～1 回／年

評 価 項 目	は い	い い え	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である	○		
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である	○		
<小 計>	2	1	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている	○		
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	
毛虫、害虫等の発生が少ない	○		
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない		○	
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)		○	電線
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない	○		
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	4	5	

「良い」評価項目数 → 6 / 12項目

○その他特記事項

全体的に樹形が悪い (電線が生育において支障となっている可能性が非常に高い)

◎ 総合評価

<今後の方針>

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 積極的に保全・育成 | <input type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 管理レベルの見直し | <input type="checkbox"/> 撤去を検討 |

<理 由>

電線が支障になっている影響で全体的に樹形が悪く、生育も悪い。根上りしている箇所も見受けられるので樹木を撤去し、新たな樹木に更新した方が良い。また、それと併せ、樹形を悪くしている原因と思われる電線を管理者の方に移設してもらおうよう協議する必要がある (電線、電柱は道路占用物と判断されるため)

街路樹評価シート(案)

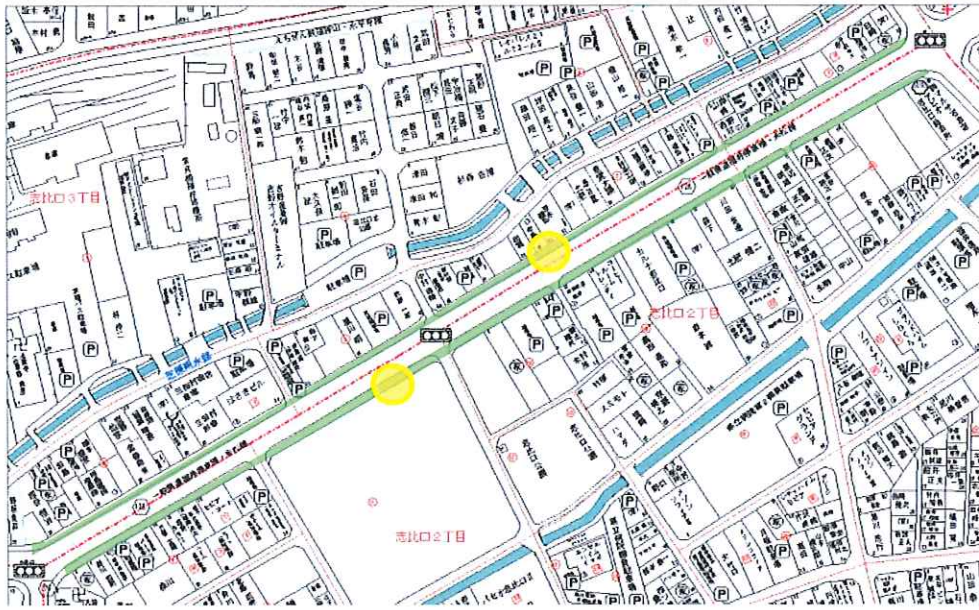
年月日

明治33年1月0日

担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成 従来の管理レベルを維持 管理レベルの見直し 撤去を検討
(既存の街路樹を撤去し新たな樹木に更新する)
(電線管理者に移設するよう協議する)

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日: _____

担当者名: _____

番 号	3		
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市春日
都市計画道路名	板垣山奥線	路線名	東郷福井線
延 長	400 m	本 数	50 本
樹種名	プラタナス	高木/中低木	高木
常緑/落葉	落葉	在来種/外来種	外来種
概算管理費用	千円/年	植樹スペース	植樹柵
	(千円/m/年)	剪定回数	0~1 回/年

評 価 項 目	はい	いいえ	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である		○	
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である		○	後続にはトチノキが植えてある
<小 計>	0	3	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている		○	
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	樹木の腐食による倒木
毛虫、害虫等の発生が少ない	○		
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない	○		
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)		○	
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない		○	
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	こぶや空洞がある
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	3	6	

「良い」評価項目数 → 3 / 12項目

○その他特記事項

過去に、支障となる電線に対処するため樹木の上部を切り落としたために、頭が空洞になっており、木の中身が空洞になっている木が多数見受けられる(業者聞き取り)。将来的にプラタナスについて、腐食による倒木が増える可能性が非常に高い。

◎ 総合評価

<今後の方針>

積極的に保全・育成
 従来の管理レベルを維持

管理レベルの見直し
 撤去を検討

<理 由>

街路樹評価シート(案)

年月日

明治33年1月0日

担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成 従来の管理レベルを維持 管理レベルの見直し 撤去を検討

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日: _____
担当者名: _____

番 号			
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市大手1丁目～3丁目
都市計画道路名	中央線	路線名	(一)吉野福井線
延 長	1400 m	本 数	200 本
樹種名	ソメイヨシノ	高木/中低木	高木
常緑/落葉	落葉	在来種/外来種	在来種
概算管理費用	千円/年	植樹スペース	植樹樹
	(千円/m/年)	剪定回数	0～1 回/年

評 価 項 目	は い	い い え	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である	○		
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である	○		
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である	○		
<小 計>	3	0	
植樹幅が1.5m以上確保されている	○		
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている	○		
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	
毛虫、害虫等の発生が少ない		○	
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない		○	
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)	○		
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない		○	サクラの枝が通行車に引っかかる事例がある
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		花の満開時の景観効果が高い
<小 計>	4	5	

「良い」評価項目数 → 7 / 12項目

<p>○その他特記事項</p> <p>全体的に樹種の高齢化が進んでおり、特に国際交流会館～裁判所までの区間については高齢化が進んでいると思われる。</p>
--

<p>◎ 総合評価</p> <p><今後の方針></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 積極的に保全・育成 <input type="checkbox"/> 従来の管理レベルを維持 <input type="checkbox"/> 管理レベルの見直し <input type="checkbox"/> 撤去を検討 </p> <p><理 由></p> <p>当該路線はさくら通りの名称のとおり、ソメイヨシノの満開時の景観は県内でも有名である。しかし、樹種の現状を確認してみると、高齢化が全体的に進んでおり、空洞化や枝枯れが目立つものが多い。また、根上り被害は無いが、高齢化による肥大化のため植樹樹のスペースに合わなくなってきた。高齢化が目立つ樹木について優先的に更新した方が良いが、それにどこから手を付ければ良いか、また、出来れば撤去せずに保全出来る方法があればコスト上助かる面もあるので、それも踏まえ、一度国際交流会館～裁判所区間について生育調査および保全方法を検討した方が良いと思われる。</p>
--

街路樹評価シート(案)

年月日

明治33年1月0日

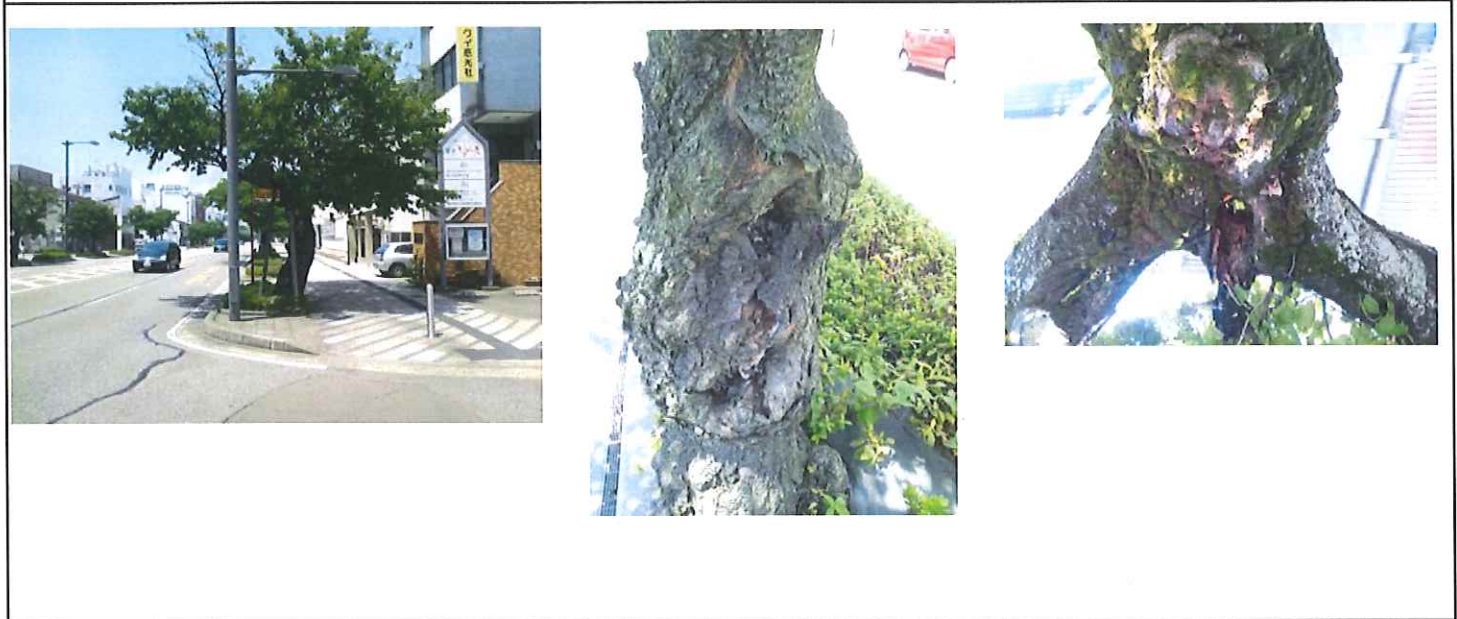
担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

積極的に保全・育成
 従来の管理レベルを維持
 管理レベルの見直し
 撤去を検討

- ・生育調査および保全方法の検討
- ・枯れ枝の剪定

※樹木の腐食が全体的に進んでいるので、路線全体がシンボリックな役割を果たしている面も大きいためそろそろ保全方法を本格的に検討した方が良いと思われます。

◎対応に要する費用

街路樹評価シート(案)

年月日:

担当者名:

番 号	2		
土木事務所名	福井土木事務所	地 係	福井市米松2丁目
都市計画道路名	松岡菅谷線	路線名	福井停車場米松線
延 長	500 m	本 数	50 本
樹種名	アメリカフウ	高木/中低木	高木
常緑/落葉	落葉	在来種/外来種	外来種
概算管理費用	千円/年 (千円/m/年)	植樹スペース	植樹柵
		剪定回数	1 回/年

評 価 項 目	は い	い い え	備 考
観光地、景勝地、ランドマークその他シンボリックな箇所にある街路樹である		○	
上位計画(景観計画、まちづくり計画、緑の基本計画等)に基づく街路樹である		○	
前後区間や周辺区域と連続性や統一性の図られた街路樹である		○	
<小 計>	0	3	
植樹幅が1.5m以上確保されている		○	
歩道有効幅員が2.0m以上(グリエ含む)確保されている		○	
街路樹に関する苦情がなく、沿線住民の理解がある		○	
毛虫、害虫等の発生が少ない		○	
信号、標識等の視認性に支障をきたしていない		○	
支障物件等による生育空間の制限がない(電柱、電線、建物等)		○	
車道への出入り、交差点における見通し等に支障をきたしていない		○	
樹形が保たれている(こぶ、極端な屈曲等で不自然な樹形になっていない)		○	
周辺に緑地が少なく、植樹効果が高い場所である	○		
<小 計>	1	8	

「良い」評価項目数 → 1 / 12項目

◎その他特記事項

歩行者の利用は少ない路線ですが、歩道がとても狭い(1.2m前後)です。
電線が支障になっている影響か、全体的に樹形も悪くなっている。

◎ 総合評価

<今後の方針>

積極的に保全・育成
 従来の管理レベルを維持
 管理レベルの見直し
 撤去を検討

<理 由>

街路樹評価シート(案)

年月日

明治33年1月0日

担当者名

0

位置図



写真



今後の方針について

◎方針

- 積極的に保全・育成 従来の管理レベルを維持 管理レベルの見直し 撤去を検討
(既存の街路樹を撤去し歩行者の通行スペースを確保する)

◎対応に要する費用